

京都へ事例見学に行ってきました!!

2010年10月31日(日)、あいにくの雨の中、京都へ3つの川の事例見学に行ってきました。

■有栖川・構口公園

構口公園は、河川改修を行っていた有栖川と、川の近くに計画されていた公園を一体化して整備した事例です。治水工事により護岸の高さが倍になり水辺に近づけない計画でしたが、川と公園を一体化したことで階段護岸を設置し、親水公園として整備しています。



構口公園の階段護岸

■堀川

堀川は都市化に伴う下水道整備・流域の減少等により長い間水源がたたれていましたが、堀川に清流を復活させようと、まちづくりと一体となった水辺空間の整備を行う取組みが市民協働で行われました。ワークショップは全82回にのぼり、5つのゾーンに分けられて整備されています。



堀川

■七瀬川

七瀬川は河川幅の狭小さ等により、浸水被害が度々発生したため河川改修が進められた川です。改修にあたっては、「人が遊び、憩う場所としての水辺の再生」の基本的な考え方に基づき、「せせらぎ水遊びゾーン」・「水辺の散策ゾーン」・「水辺のスポーツゾーン」の3つの整備ゾーンによって全体計画が行われています。



七瀬川・せせらぎ水遊びゾーン

芦田川かわら版

～みずからまもろう ふるさと芦田川の会～

第3号

【発行】

高石市役所 土木部事業課
住所 〒592-8585
大阪府高石市加茂4-1-1
電話 072-265-1001
Fax 072-263-6116



第2期 みずからまもろう ふるさと芦田川の会

「二級河川芦田川ふるさとの川整備事業」の基本計画を市民と行政との協働により検討を行うワークショップ「みずからまもろう ふるさと芦田川の会」が平成21年度から開催され、今年度で2期目を向かえています。

昨年度は3班に分かれ「こんな芦田川にしたい」、「芦田川でこんなことしたい」といった芦田川の将来像を班ごとにイメージとしてまとめ上げる等の活動を行ってきました。

今年度は昨年度に引き続き基本計画を検討するだけでなく、会議室を飛び出して多くの市民の皆様へ「みずからまもろう ふるさと芦田川の会」の活動や「芦田川」について知っていただくためのPR活動も行っています。

今回の芦田川かわら版では、PR活動の一環として行った羽衣七夕祭りブース出展、こども川遊びワークショップの様子を報告します。

羽衣七夕祭りに出店しました!!

みなさんは芦田川にどんな生き物が住んでいるか知っていますか?

普段はあまり目を向けられていない芦田川ですが、実は多くの生き物が生息しています。そのことを知っていただいて芦田川に興味を持ってもらえたらと思い、2010年8月8日(日)羽衣七夕祭りにブースを出展させていただきました。ブースには「芦田川生き物水族館」と「顕微鏡コーナー」を設けた他、七夕にちなんで「笹舟作りコーナー」も設置しました。

「芦田川生き物水族館」として水槽の中にいた生き物たちは、祭りの当日に委員の皆様が芦田川に入って捕まえた生き物で、うなぎやメダカ、ザリガニ、カメ、カニ、カエルなど多種にわたりました。祭りが始まると「こんなに生き物があの川に住んでたなんて!」といった驚きの声を多くいただき、芦田川を知っていただく1つのきっかけに作りになったように思います。



出店ブースの様子



顕微鏡コーナーの様子



笹舟づくりコーナーの様子

芦田川トピック

二層式河川ってなあに??

芦田川では、毎日河川整備が進んでおり、日々の生活の中で工事の様子を目にする方も多いのではないのでしょうか。

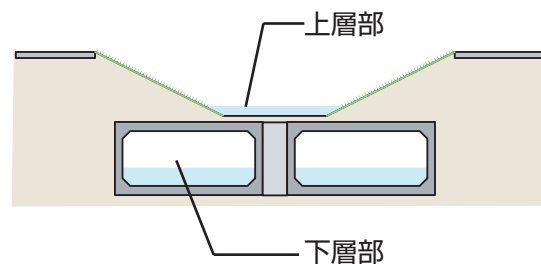
芦田川の整備にあたっては、治水対策のみにとどまらず、市民にとってうるおいのある水・緑と親しむ空間になって欲しいという願いから二層式の河川構造が採用されています。

二層式河川は、治水と親水とを考慮二層とし、下層に大雨時など流量が多い時に利用する治水機能をもたせ、上層には流量の少ない平常時に水を通す親水機能を持たせています。

現在、工事の様子で見ることができる長方形の大きな口をあけたコンクリートの構造物は、治水対策のための下層部分の整備です。

この下層部の整備が終わると、いよいよ私たち「みずからまもろう ふるさと芦田川の会」が2年間かけて検討を行ってきた親水空間である上層部の整備がはじまります。

次回の芦田川かわら版では、上層部の基本構想(案)をご報告いたします。



こども川あそびワークショップを開催しました !!

去る2010年8月29日（日）、夏休み最後の日曜日を利用して、「芦田川・川遊びワークショップ」を開催いたしました。

芦田川・川遊びワークショップは、子どもたちに直接芦田川に入っただき、水や生き物に触れてもらい、自分たちの身近な場所を流れる芦田川に愛着をもってもらえればという思いから企画しました。

当日は、35名の小・中学生にご参加いただき、生き物調査や水質検査、顕微鏡を用いたプランクトンの観察、また竹で水鉄砲を作る体験をしていただきました。

イベントの開催にあたっては、子ども達にこのイベントを通して何を伝え、何に関心をもってもらいたいかについて、5月29日（土）、6月27日（日）、7月31日（土）に開催したワークショップで議論を重ねてきました。そして実際に子ども達に川に入って水や生き物にふれてもらい、芦田川に愛着や関心をもってもらいたいという思いからこのイベントを開催しました。

8月22日には委員の方々に、子ども達の安全確保のために川の清掃活動も行いました。



ワークショップの様子

生き物調査

大阪府鳳土木事務所の協力により設置された階段を使って川に入り、みんなで生物の採取を行いました。

普段上から眺めているだけだった川の中に、ザリガニやタニシ、アメンボ、ミズカマキリ、カエル、カニ、カメ等、多くの生き物が生息しており、「こんなに生き物がいたんだね!」といった、子どもたちの嬉しそうな声が響いていました。

その声を聞いて、通りかかった方にも



生き物調査の様子



ザリガニ



カニ

話かけていただくことができ、芦田川を通じて地域の輪が広がりました。

しかし、ミズカマキリやタニシ、ザリガニ等は少し汚れた川に生息している生き物です。水質の汚染状況がわかる生物図鑑を見て、そのことを知った子どもたちから、「もっと色々な生き物が棲むきれいな川にしていきたいな」といった声を聞くことができ、非常によかったです。

水質検査

水質検査キットを用いて班ごとに川の水のきれいさを調べました。検査項目はPH、亜硫酸、COD、アンモニウム、リン酸の5種類を行いました。

班ごとに芦田川の水を汲みにいった後、検査キットで水を吸い込み、反応した色をカラーチャートと見比べながら、川の汚れ具合をチェックしました。



水質検査の様子



水質検査の様子



水質検査の様子

班の中の年上の子が年下の子のお手伝いをしてくれながら、みんなで協力して検査を進めることができました。

水質検査を通して、子どもたちも「芦田川の水がもっときれいになって、生き物が住みやすい場になってほしいな」という気持ちをもってもらうきっかけになったようです。

顕微鏡コーナー

芦田川に棲む、目には見えないプランクトンの世界を覗いてみようとして顕微鏡コーナーを開設しました。

芦田川の水を顕微鏡で見ると、ゾウミジンコやツリガネムシ、プラナリアなど、様々な種類のプランクトンを観察することができました。

子どもだけでなく、参加してくれた保護者の方にも昔の理科の授業を思い出してもらって楽しんでいただくことができました。



顕微鏡コーナーの様子

水鉄砲づくり

水にちなんだ昔遊びを行おうと、竹で水鉄砲を作る工作コーナーを開設しました。

ひとりひとり、竹の太さに合わせてピストン用の棒にスポンジを巻き付け、その上に布を巻いて水鉄砲をつくりました。

作り終わると、どれくらい水が飛ぶかの飛ばし合いが始まり、時間を忘れて楽しんでいただきました。



水鉄砲づくりの様子



水鉄砲で遊ぶ様子